

# III や っ ら ゃ ば 閑 話

## 「選果はブランド②～」A茨城旭村のメロン～

以前、長崎県や静岡県ブランドみかん、新潟県ブランド梨、桃等について述べました。(園芸市場情報令和6年3月号)

今回ご紹介するのは茨城県銚田市旭地区、日本のメロン産地の中でもトップクラスの生産量を誇るJA茨城旭村のブランドメロンの事例です。

産地の集出荷施設には、平成16年から光センサー選果システムが導入されており、光の透過率で甘さや熟度を測定し、更に外観センサーによる選果を経て、基準に合格した糖度13度以上のメロンのみが出荷されています。

また、ひと玉ずつにシールが貼られ、記載された「QRコード」を読み取ると、糖度をはじめ生産者の名前、収穫日、農薬散布履歴、施肥情報等が確認できるとのことです。



(ひと玉ひと玉に貼られたシール)



(品種共通の販売規格)

規格は4段階(「プレミアム『極』」「特秀」「秀」「優」)で、それぞれ糖度18度以上、16度以上、14度以上、13度以上で選果されており、「プレミアム『極』」と「特秀」は各々専用箱が、「秀」と「優」は共通の箱が用いられています。

※最上級の「プレミアム『極』」は、高級感漂うデザインの箱で出荷されています。



産地が徹底しているところは、選果(糖度センサー・外観センサー)による確かな品質と、安心安全を担保するトレーサビリティとのことです。農家、産地が一丸となって高品質なメロンを作っていこうとする責任感と気概が感じられます。

(チーバくんの鼻の先)